

宮崎で生まれ、縁もゆかりもなかった長崎県に入庁し、4年目を迎えました。



宮崎で生まれ、縁もゆかりもなかった長崎県に入庁し、4年目を迎えました。現在は壱岐の家畜保健衛生所(家保)で、主に家畜伝染病の発生予防に関する業務を行っています。今回、家保の仕事と長崎での暮らしについて、簡単にですがお伝えしたいと思います。

長崎県の家保は、九州本土に3ヶ所と、五島、対馬そして壱岐といった離島にそれぞれ1か所ずつの計6ヶ所あります。「ん？本土？離島？」と思った方はいませんか？長崎県では離島の勤務があり、この離島での勤務が長崎県の特徴のひとつと言えるでしょう。私が現在勤務している家保は、まさにその離島のひとつである壱岐島にあります。

壱岐島は、九州北方の玄界灘にある島で、島の南端から北端まで車で30分と掛からないぐらいの大きさです。一周するにもそんなに時間は掛かりません。

そんな島での暮らしは、非常に快適です！初めての土地での暮らしに不安を感じていましたが、まったくの杞憂でした。確かに田舎ではありますが、住めば都で不自由さはありません。小さな島だからこそそのコンパクトな生活を送れます。そして、楽しみもたくさんあります。白い砂浜とエメラルドグリーン的大海。そんな海が気に入り、夏には毎週、時間に余裕があるときには仕事帰りにも海に向き、シュノーケリングなど満喫しています。四季折々の自然は素晴らしく、趣向を凝らしたイベントもたくさんあり、息つく暇もありません。また壱岐に限らず、長崎は各地域にそれぞれの魅力が詰まっています。

どこに行っても都暮らしができるはずです！



さて、業務についてですが、家保は家畜防疫をはじめ多くの役割を担っており、家畜伝染病予防法等の法律に基づいて様々な業務を行っています。非常に堅苦しく聞こえますね。要は、様々な業務を通じて農家さんの生活を支える仕事をしているのです。

例えばある時は、全ての農家に出向いて衛生的な環境で家畜が飼われているか確認し、改善が必要であればそのための指導を行い、家畜伝染病の発生防止を図っています。またある時は、特定の伝染病に関して、農家さんに協力を依頼して定期的な採材・検査を行い、伝染病発生の兆しはないか監視する業務を行っています。

## 一定の成果を上げることができました。

また、地域の団体と協働する業務もあり、やりたいことがあれば自ら企画し、実施することができる環境が長崎にはあります。つまり、ルーチンワークばかりではないんです！実際に私は、牛の繁殖成績の向上の目指し、妊娠鑑定や直腸検査を含めた繁殖指導巡回を新しく始め、一定の成果を上げることができました。成功ばかりではありませんでしたが、私自身にとって非常に有意義な経験となりました。現在もチャレンジしていることがあり、これからも機会を逃さず様々なことに挑戦していこうと考えています。



## これから公務員を目指す方にひとこと

私たち公務員獣医師の仕事には、一般に言う獣医の仕事のような華々しさはありません。表に出ることはなく地道な業務がほとんどですが、私たちが農家さんの生活を支えるんだという思いと誇りを持って日々奮闘し、ひいては地域や県の畜産振興に繋がるよう、これからも縁の下の力持ちとして精進していきます。最後に、もし少しでも私の話に興味を持たれた方がいらっしゃれば、ぜひご連絡ください。いつでもお待ちしております。そして、一緒に縁の下でがんばりましょう！